

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

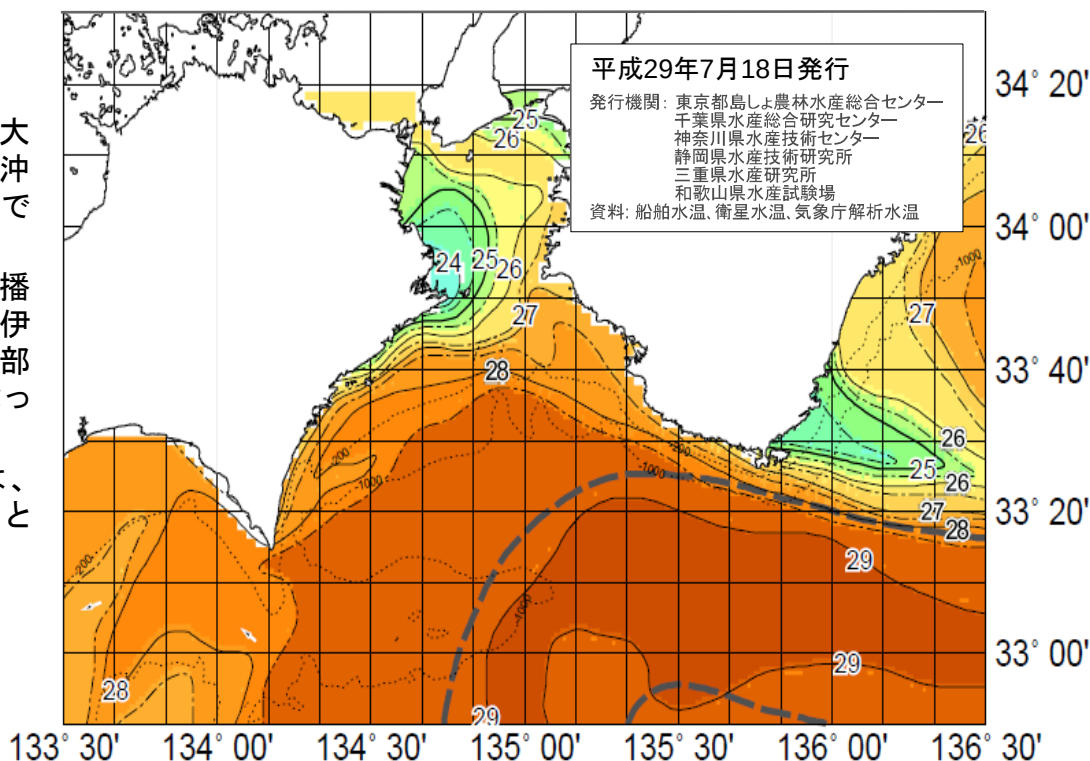
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、九州・四国沖で大きく離岸しており、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では「接岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で24℃～26℃台、紀伊水道で23℃～26℃台、海部沿岸で24℃～28℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、やや高い28℃～29℃台となっている。

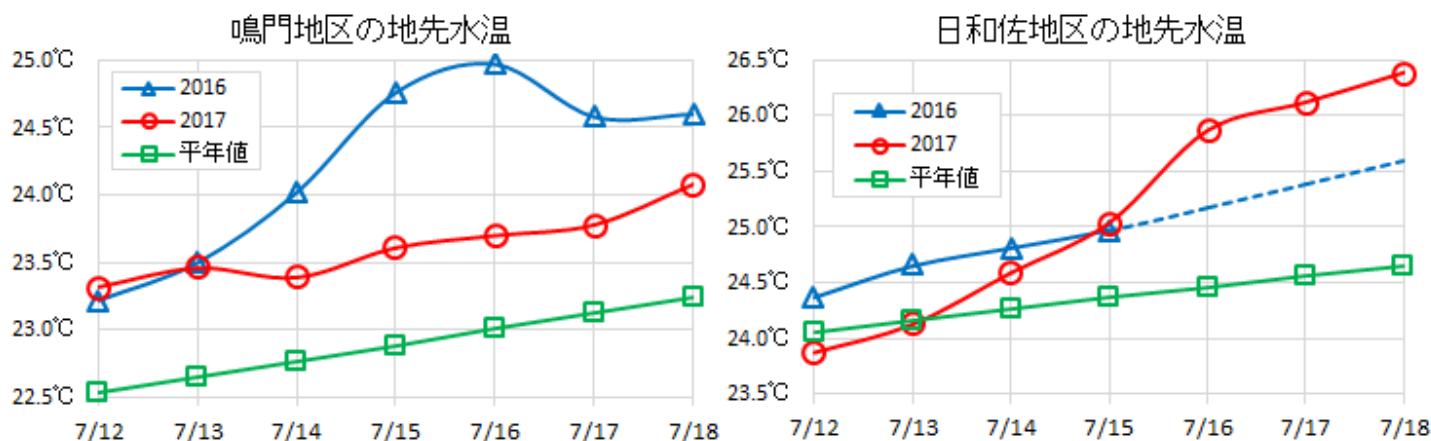


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月12日～7月18日)

鳴門地区の地先水温は、「やや高め」の23.3℃～24.1℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、期間始め「平年並み」の24℃前後であったが、その後大きく上昇し、17日には「高め」の26℃台となった。グラフは省くが、牟岐地区の地先水温も、14日まで24℃台であったところが15日以降26℃台で推移している。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(7月19日～7月25日)

黒潮は、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では離岸傾向で「接岸」のち「離岸」ないし「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門では、「やや高め」～「高め」の24℃～25℃台、日和佐地区では「高め」の26℃台で推移する見込み。

漁況

2017年7月10日～7月16日（旧暦閏5月17日～閏5月23日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網漁は引き続き好調で、シラスが前週並みの270ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが減って特大主体に0.6ト水揚げされた。

延縄では、ハモが前週並みの7.5ト、タチウオが増えて特大主体に2.2ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく増えて大主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて10.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄では、アカムツが減って0.7ト水揚げされた。

小型定置網漁は、前週よりやや改善したものの不調で、マアジが0.5ト、ウルメイワシ、カタクチイワシがそれぞれ0.4ト水揚げされた。

大型定置網は今期は10日までの操業で、いわし類が1.5ト、マアジが小小主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	162	シラス	270,000	2,000		→
	釣り	32	タチウオ	592	18	特大主体	↘
		22	イサキ	309	14	大主体	↗
	延縄	91	ハモ	7,492	82		→
		98	タチウオ	2,227	23	特大主体	↗
		37	マサバ	499	13	大主体	↗↗
		37	ゴマサバ	468	13	大主体	→
	小型定置網	25	イサキ	483	19	大主体	↗↗
		20	マアジ	307	15	小小主体	↘↘
	底びき網	62	ハモ	10,362	167		↗
		45	えそ類	701	16		→
		46	いとより類	454	10		→
		45	タチウオ	336	7		↗↗
	海部沿岸	延縄	47	アカムツ	655	14	
15			カサゴ	461	53	特大主体	↗↗
小型定置網		37	マアジ	480	13	小小主体	↗
		17	ウルメイワシ	438	26		→
		8	カタクチイワシ	379	47		↗↗
		31	かます類	325	10	小小主体	↗
		35	とびうお類	224	6		↗
		30	ケンサキイカ	206	7	小小主体	↗
大型定置網		1	いわし類	1,489	1,489		
			マアジ	542	542	小小主体	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘
 大型定置網は期間途中で操業を終了したので前週比を省いた。